

和歌山市立加太中学校

平成29年度全国学力・学習状況調査結果の概要と具体的な取組

調査内容

実施日：平成29年4月18日(火) 実施対象：3年生 16名

全国学力・学習状況調査は、出題範囲を調査実施学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、国語・数学の2教科について、「知識」と「活用」の2種類の問題が出題されます。国語A・数学Aでは、身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などについて、国語B・数学Bでは、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などについて出題されます。

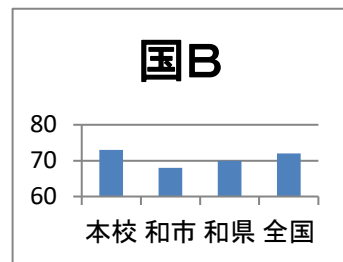
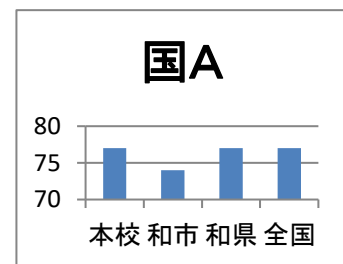
教科調査の結果分析より

《国語科の調査結果に見える本校生徒の傾向》

※概要について、よかったことにも触れながら記述する

(本校の平均正答率：国A77%、国B73%)

- 課題①文章に表れているものの考え方について交流を通して自分の考えを広くする点が劣っていた。
- 課題②文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えを持つ点は優れていた。
- 課題③目的に応じて資料を効果的に活用して話す点が優れていた。



《数学科の調査結果に見える本校生徒の傾向》

※概要について、よかったことにも触れながら記述する

(本校の平均正答率：数A56%、数B47%)

- 課題①鋭角の意味が理解していない。扇の弧の長さや円柱の体積を求めたりすることが劣っていた。
- 課題②一元一次方程式を理解していない。
- 課題③資料から必要な情報を適切に読み取ることが優れていた。

